



湧別町立ゆうべつ学園

学園だより

令和7年2月28日
(第13号)
校長 若松 征一

重点教育目標「仲間と共に 学びを創る 子ども」が育つ学園の創造

「ゆうべつ学」で深める ふるさとへの思い

本校では、湧別の自然や歴史、産業、地域の人々について学ぶ「ゆうべつ学」に取り組んでおり、今年度も地域の方々のご協力のもと、フィールドワークやさまざまな活動を通して、ふるさとへの理解を深めてきました。

湧別には広い農地や美しい自然、おいしい特産品などたくさんの魅力がありますが、人口減少や観光のことなど、みんなで考えていきたい課題もあります。子どもたちは、調査をしたり地域の方々とお話ししたりしながら、湧別の今と未来についてじっくり考えました。学びの方法も、個人やグループでの学習、地域の方々との交流など、いろいろな形を取り入れ、SDGsの視点からこれからの湧別にできることを考える時間も持ちました。

そして、1月30日には「ゆうべつ学フェスティバル」を開き、子どもたちは自分たちの学びの成果を発表し、地域の方々からも「子どもたちが湧別の未来について真剣に考えているのが頼もしい」「新しい視点で地域の魅力を発見していて感心した」といった声をいただきました。

これからも地域のみなさんと一緒に学びを深め、ふるさとを大切にする気持ちを育てていきますので、ご家庭でも「湧別のいいところ」「湧別の未来」について、ぜひ話してみてください。

都道府県ランキング 北海道

魅力のある場所ランキング	1位
観光にでかけたい場所ランキング	1位
食事がおいしい都道府県ランキング	1位
形が一番かわいい都道府県ランキング	1位
住んでいる人の満足度ランキング	40位

※PTA 連合会講演会より

全国的に見ると北海道は高く評価されていますが、実際に住んでいる方々の満足度はそれほど高くないようです。だからこそ、「ゆうべつ学」を通じて、湧別町の魅力を深く学び、自信を持って語れる子どもたちを育てることが大切だと考えています。私自身も、湧別町の良さを改めて見つめ直し、自分の言葉でしっかりと伝えられるよう勉強していきたいと思います。

生徒会リーダー集結！ 運営力を磨く！



オープニングで会場を盛り上げる学園生徒会

湧別町文化センターさざ波にて、第34回生徒会サミットが開催されました。オホーツク管内の中学校や後期課程の生徒たち約180名が集まり、交流を深めました。本学園からは生徒会5名が参加し、オープニングを担当。

自校紹介や名刺交換、フレンドリータイムのゲームを通じて、企画力や運営力を高める貴重な機会となりました。生徒たちは意見を交換しながら協力し、活気ある時間を過ごしました。他校の活動を知ることで新たな視点を得ることができ、今後の生徒会活動に活かせる有意義な一日となりました。



オホーツク管内の各校から集まった生徒会メンバー



ゲームを通して交流を深める生徒たち

児童会主催そりレース

児童会主催のそりレースが開催されました。前期課程のなかよし班21組は、3日間に分けてレースに参加しました。レース中コースアウトなどのアクシデントもあり大変盛り上がりました。



なかよし班に分かれ、そりリレーを楽しむ子どもたち

9年生バイキング給食



料理を盛り付ける9年生



会食を楽しむ9年生

2月3日、9年生26名を対象にバイキング給食が行われました。

並べられた14種類の料理を思い思いに味わいました。9年間の学校給食に感謝しながら、楽しいひとときを過ごしました。

8年生人命救助を体験



AEDの使い方を確認する生徒

2月20日(木)、湧別出張所の消防署員の指導で本校8年生15名が救命訓練を体験しました。身の回りの危険や人命救助の方法を実践的に学びました。



体重を乗せリズムよく心臓蘇生のやり方を練習する8年生



消防署員から胸骨圧迫法を真剣に学ぶ生徒たち

1団体9個人が青少年顕彰を受賞！

湧別町青少年健全育成町民会議より、今年度社会貢献・文化・スポーツの3分野で功績のあった児童生徒たち1団体9個人が青少年顕彰に選ばれました。おめでとうございます。



功績を称えられ笑顔で写る子どもたち

受賞者氏名↓

- ◎社会貢献賞
 - ・西堀 泉さん
- ◎文化賞
 - ・坂東陽咲さん
 - ・山崎孝太さん
 - ・水谷莓佳さん
 - ・片桐真結さん
- ◎スポーツ賞
 - ・秋葉柚乃さん
 - ・河瀬結菜さん
 - ・仁木愛里さん
 - ・鈴木咲妃さん
 - ・湧別マリナーズ

3月の行事予定は
こちらを読み取って下さい。

